

「IoT 時代における知的財産の活用戦略」

大阪工業大学 知的財産専門職大学院
知的財産研究科 教授 内藤浩樹

日時 9月13日(木)15時～16時30分

場所 産研 管理棟1階 講堂

【講演概要】

IoT 時代では、様々なビジネス上のアイデアが重要な知的財産となり、これまでのように、特許に代表される産業財産権、著作権の活用よりも、権利としては保護されないノウハウ、ソフトウェア、及びデータの活用が企業戦略上、重要視される。世界の知的財産制度の動向も踏まえた上で、IoT 時代における知的財産の活用戦略を概説し、今後の日本企業と大学の展望と期待を、研究者の皆様に向けて、講師の経験上、可能な範囲で紹介します。

(内容)

- ・IoT 時代のビジネスと知的財産
- ・国際的な知的財産制度の動向
- ・日本企業と大学の展望
- ・若手研究者への期待

【講師略歴】

1986年 松下電子工業(株)入社(半導体研究所)
1994年 研究開発テーマに関して工学博士号取得
1995年 松下電器産業本社知的財産部門に異動
1997年 日本弁理士登録、欧州特許庁研修経験
2005年 同社 IPR オペレーションカンパニー知財開発センター所長
2009年 日本知的財産協会 副理事長
2015年 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 教授
パナソニック IP マネジメント(株)カウンセラー
2017年 JAXA 研究開発部門 研究戦略部 参与 ～現在に至る

主催：大阪大学産業科学研究所 知的財産研究分野

問合せ TEL 06-6879-8448 email shimizu@sanken.osaka-u.ac.jp